



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

職業奉仕とは

2021-22年度地区職業奉仕委員会
副委員長 木下正二郎(大阪北梅田RC)

日本語では 職業奉仕

西洋では ボケーショナル サービス
Vocational Service

ロータリーの目的

「ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として
イデアル オブ サービス (サービスの理念) を奨励し、
これを育むことにある。」

標語2つ

「最もよく奉仕(サービス)する者最も多く報われる」

One profits most who serves best

アーサー・F・シェルドン

「超我の奉仕(サービス)」

Service above self

フランク・コリンズ

ロータリーは3つに共通する
サービスという考え方・活動様式を
実践する団体

サーバ サービス とは【辞書】

Serve Service

- ▶ 公務
- ▶ 供給
- ▶ 用務
- ▶ 兵役
- ▶ 勤務

- ▶ 客扱い
- ▶ 貢献
- ▶ 奉仕
- ▶ 役立つ
- ▶ 世話する
- ▶ 召使い

- ▶ (スポーツの)サーバ
- ▶ 注文を聞く
- ▶ 任務
- ▶ 修理
- ▶ 仕える
- ▶ ために働く

サーブ サービス とは【使い方】

Serve Service

- ▶ 卓球 テニスのサーブ
- ▶ レストランのサービス
- ▶ 病院のメディカルサービス
- ▶ セルフサービス
- ▶ サービス業 サービス産業

ロータリー百科事典では、
奉仕という言葉で英語圏の人が使うサービスの概念を
イメージしてくださいと書いてあります。

- 人とか地域や相対する人々にニーズがあり、
そのニーズを満たす行為をサービスと言う

人々のニーズ

- ▶ 技術や品質が高い
- ▶ 価格がリーズナブル
- ▶ 十分な品揃え
- ▶ 接客態度や知識
- ▶ 公正な広告
- ▶ 仕入先
- ▶ 適正な利益配分
- ▶ 安全の確保
- ▶ 社員の福利厚生
- ▶ 社会保障
- ▶ 教育の機会
- ▶ 給料
- ▶ アフターフォロー

ポールハリスの願い

20世紀初頭のシカゴでは……儲けた者が勝ち

一神教の世界では ……自分は正しい、
騙された人が悪い

この状況を良くしようと、ロータリーを作った

「最もよくサービスする者最も多く報われる」

One profits most who serves best

アーサー・F・シェルドン

「超我のサービス」

Service above self

フランク・コリンズ

ロータリーの目的の第2項

職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて 価値あるものと認識し、社会に奉仕(サービス)する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること

サービスは求める人と提供する私の2人ですが、これだけではだめで、モラルの向上も必要です。

倫理訓 職業宣言
近江商人の三方良し

職業宣言

1989年

- 1) 職業はサービスの一つの機会なりと心に銘せよ。
- 2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳基準に対し、名実共に忠実であれ。
- 3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的基準を寄進すべく全力を尽くせ。
- 4) 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係を持つすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし。
- 5) 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
- 6) 自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業「**の**」基礎として
サービスの理念を奨励し、これを育むことにある。

意義ある事業「**を**」基礎として
ではありません
奉仕と考えるから「**を**」となる

ボケーショナルサービスとは

- ▶ ロータリーはサービスを志向する団体
- ▶ サービスとは、貴方の望むことをしてあげること
- ▶ 職業でサービス第一とすると大いに報われる



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

ご清聴ありがとうございました